

【日本弁理士会認定外部機関研修】NIPTA主催セミナーのご案内

【チェッカーのための～中国語特許翻訳講座（日中翻訳）】

■講師

董昭(とうしょう)氏

中国弁理士（株）知財コーポレーション顧問
北京師範大学物理学部卒業後、同大学同学部の教員を経て、1984年弁理士の資格を取得。弁理士の仕事に従事し、1991年に来日。以来、学校、企業などで中国語、翻訳を指導。現在、特許事務所での仕事の他、翻訳者、チェッカーとして活躍するかたわら、その人材の育成にも力を入れている。

【会場】 新宿オークタワー Room2
東京都新宿区西新宿 6-8-1
住友不動産新宿オークタワー 1F

【日時】 2013年10月23日（水）
13:00～17:00（休憩含む）

■テキスト：当日配布

■定員：40名 ※先着順、最低催行人数16名

■申込受付：2013年10月16日まで
※定員になり次第締め切ります。

■受講料：10,000円（テキスト代、税込）

NIPTA 会員、アメリカ会員、大学生は割引あり。

※振込み手数料は自己負担をお願いします。

※入金後の申込キャンセルはできませんので充分ご注意ください。

<振込先>

- ・三井住友銀行 麹町支店（支店コード 218）
- ・普通口座 8685650

<口座名義>

- ・特定非営利活動法人 日本知的財産翻訳協会

※ご入金確認後、正式に申込を受理します。今後のご案内はすべて電子メールにて行いますので、申込の方は、メールの確認を厳守して下さい。メールのない方は、ファックスにてご案内いたします。

※入金を確認された方に対して、お申込受付番号をお知らせします。

■共催：株式会社知財コーポレーション

概要

中国語は非常に論理的に組み立てられており、しかも語順は1つしかありません。言葉（文）の意味やニュアンスは語順によって示されています。つまり「単語の意味」と「単語の語順」をきちんと把握すれば、中国語を正確に理解することができます。本講座では、日本語と比較しながら、特許明細書とも関わりの深い中国語の基本を学習すると同時に、書式から内容まで、中国語特許明細書における翻訳文のチェックポイントがつかめるようになることを最大の目的として、講義を行います。また、あわせて日中特許翻訳における誤訳率の高い問題、その発生の要因及び対策についてもお話しします。もちろん、即戦力を養うために、実際の明細書、実際の翻訳文を用いて学習します。〔講師記〕

■申し込み方法：下記Faxまたはe-mail(seminar@nipta.org)にて、件名に、『セミナー申込』とご明記の上、下記必要事項をご記入し、お送りください。

<お申込先>

☆Fax. 03-5909-1189 ☆e-mail: seminar@nipta.org

<必要記入事項>

- 1：お名前 2：請求書宛名 3：ご住所 4：TEL・FAX 5：e-mail 6：申し込みセミナー名 7：お勤め先（学校名）
- 8：NIPTA会員（賛助会員含）の場合は登録個人会員名または団体名 9：弁理士会会員の方は、弁理士登録番号
- 10：このセミナーをどこでお知りになりましたか

後ほど、事務局から参加に関するご案内を致します。

※お申込後、営業日数日以内に事務局から連絡のない場合、恐れ入りますがお電話にてお問合せください。

<日本弁理士会会員の方へ>

▼取得単位 3.5単位（予定）

この研修は、日本弁理士会の継続研修として認定を受けています。この継続研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として3.5単位が認められる予定です。

【注意事項】15分以上の遅刻をした場合には、受講したものと認められません。公共交通機関等の遅延、自己に起因しない理由であっても受講したものと認められませんので、時間に余裕をもって会場にお越しください。また、中座、早退の場合については、時間に関わらず受講したものと認められません。